令和５年３月

皇居乾通りの概要について

○　乾通り

乾通りは、乾門から宮内庁庁舎前に至る乾濠及び蓮池濠沿いの通りです。

この乾通りは、両側にさくら、もみじ、松を中心にさまざまな樹木が混植され、本丸側の石垣と濠、吹上御苑側の樹林を背景に、美しい景観を楽しめる並木道になっています。

坂下門から乾門までは約７５０ｍあります。

○　乾通り沿いの主な樹木

（１）さくら類	計１０３本
・ソメイヨシノ	４３本
・サトザクラ	９本
・シダレザクラ系（ベニシダレ、ヤエベニシダレ等）	９本
・ヤマザクラ系　（ヤマザクラ、オオヤマザクラ等）	１６本
・ヒガンザクラ系	８本
・その他（フユザクラ、カンヒザクラ等）	１８本
（２）もみじ類	計７０本
・イロハモミジ	３６本
・トウカエデ	１４本
・オオモミジ	６本
・モミジ（ベニシダレ）	６本
・その他（モミジ(オオサカズキ)、ノムラモミジ等）	８本
（３）アカマツ・クロマツ	計５３本
（４）その他（タブノキ・モッコク等）	計４８本